

第1回 奈良市HACCP普及推進会議の意見の概要

開催日時	平成30年1月22日（月）午後2時から午後4時30分まで
開催場所	はぐくみセンター（奈良市保健所・教育総合センター）大会議室
意見等を求める内容等	<ul style="list-style-type: none">・平成29年度奈良市地域連携HACCP導入実証事業の進捗について・HACCP導入支援の技術的解説について・ハサップに取り組むモデル事業者における取組状況について・地域におけるHACCPの普及方策について
参加者	出席者 9人 ・ 事務局 11人
開催形態	公開（傍聴人 2人）
担当課	健康医療部保健所生活衛生課
意見等の内容の取り纏め	
<p>事務局による概要説明の後、出席者に意見等を求めた。</p> <p>《意見を求めた内容及びそれらに対する意見等》</p> <p>1 平成29年度奈良市地域連携HACCP導入実証事業の進捗について 事業の背景、目的及び概要等について、事務局から報告した。 (事業の概要)</p> <p>厚生労働省では、食品衛生法改正によるHACCP（「ハサップ」という。）の制度化を推進しており、地方自治体と連携した取組として、平成27年度から「地域連携HACCP導入実証事業（国委託事業）」を実施している。</p> <p>本市では、ハサップの制度化を見据えて、この事業に参加し、奈良市旅館・ホテル組合、奈良市飲食店組合及び奈良食品衛生協会と連携して、ハサップの普及を図る。</p> <p>2 HACCP導入支援の技術的解説について 奈良市旅館・ホテル組合及び奈良市飲食店組合から選定したモデル事業者3件に導入支援したハサップの技術的解説について、事務局から報告した。 (モデル事業者による取組)</p> <p>メニューをグループ化し、グループごとに衛生管理の方法を決める「プロセスアプローチ」の考え方を取り入れ、グループごとの重要管理のポイントを決めた。</p> <p>3 ハサップに取り組むモデル事業者における取組状況について ハサップの取組状況について、モデル事業者3件から報告をしてもらい、ハサップを導入するに当たっての課題及びその対応策を検討した。</p> <p>(1) メニューのグループ化に関する意見について</p> <ul style="list-style-type: none">・一つのメニューでも複数のグループに分類されることがあることを認識した。 (メニューのグループ化については、苦労した旨の意見はなかった。)	

(2) 危害要因分析に関する意見について

- ・手間がかかる。
- ・作業の重要性を再認識し、従業員の衛生意識が向上した。

(3) その他ハサップの導入に関する意見について

- ・今まで経験に基づいて調理していたものの、安全であることの裏付けを取ることができた。
- ・スタッフの衛生管理は個々に任せていたが、今回を機にスタッフの衛生管理の意識付けができた。
- ・ハサップの導入に当たっては、外部の方にも「見える化」を図るために、記録をしていく必要があるのではないか。

4 地域におけるHACCPの普及方策について

厚生労働省による食品衛生管理の国際標準化に関する検討会の意見等を事務局から紹介し、基準Bの対象となる食品等事業者の対応が難しいと考えられる危害要因分析等のHACCPの原則や手順を整理することを検討したい旨を伝えた。